

# 鎮静剤の使用を希望される方へ

のどや鼻に行う咽頭麻酔はすべての方に実施します。

料金 7,370円(内税)

事前にご予約が必要です。以下の注意事項をご確認の上、3営業日前までにご予約ください。  
ベッドに限りがあるため、ご希望の日にならぬ場合がございます。当日のご希望は承れません。

## 《目的》

内視鏡検査時の緊張による精神的・身体的負担を軽減するために行います。

## 《方法》

安全確保のため、医師の指示のもとに点滴、モニター管理(血圧・脈拍・酸素飽和度の測定)を行い、鎮静剤を投与します。また、経口からの検査になります。

当院では、「消化器内視鏡ガイドライン第3版」に準拠し、意識下鎮静(ウトウトする、医師と口頭でコミュニケーションを保つことができる鎮静状態)で検査を実施します。完全に眠ってしまう、意識を失う麻酔ではありません。時に「辛かった」「眠れなかった」などありますが、鎮静剤の目的は眠ることではありません。また、その日の体調によっても効果に違いがあります。

検査終了後には鎮静効果を打ち消す拮抗剤を投与しますが、眠気が残り足元がふらつくなどの症状がでることもあるため、観察室で1時間程度、安静にいただき安全を確認してからお帰りいただきます。

## 《疾患・内服薬の禁忌》

下記の疾患・治療薬を内服されている方は鎮静剤を投与できない場合があります。

- ・急性狭隅角緑内障
- ・重症筋無力症
- ・HIV治療薬
- ・C型肝炎治療薬

## 《偶発症》

注射部位の炎症及び筋障害、静脈炎、血圧低下、ショック、呼吸抑制、呼吸停止、健忘、覚醒遅延などがあります。2016年度発表の消化器内視鏡学会による全国調査では、鎮静剤使用による偶発症発生率は0.0013%(約8万分の1)死亡率0.000023%(430万分の1)と報告されています。鎮静剤投与の実施に当たっては細心の注意を払い、万一偶発症が生じた場合には最善の処置を行います。(救急病院への搬送・入院の可能性もあります。)

## 《注意事項》

- 胃カメラは経口から挿入になります。
- 検査当日は、アルコールの摂取をしないで下さい。
- 検査当日は、車・バイク・自転車などの乗り物の運転はしないで下さい。  
(当日、ご自身で運転して来院された場合は、鎮静処置は行えません。)
- 授乳中の方は、薬剤の母乳への影響を考慮して24時間の断乳と搾乳・破棄をお願いします。

## 《その他》

ご予約をされても、ご自身で運転して来院された場合や、心疾患・呼吸器疾患・75歳以上の方など、鎮静剤が安全に使用できないと医師が判断した場合は、鎮静処置は行いませんのでご了承下さい。

済生会神奈川県病院 予防医療センター

TEL:045-432-1117 平日 9:00~15:30